



Future begins with engineers and JSPE

ホーム
Home

JSPEについて
About JSPE

技術倫理
Ethics

イベントカレンダー
Events

刊行物
Publications

[最新情報Home](#)

第11回 Engineers' Salon

2003年度 第11回 Engineers' Salon

日時； 1月21日（水） 午後7時から9時半

出席人数； 10名

内容

年明け初のエンジニアズサロンということもあり、新年会の雰囲気ディスカッションが行われた。

PDH（継続教育）について話し合いをした。

以下に出された意見について、箇条書きでまとめた。

・サーティフィケーションについて

1) 自主学習について、学習内容について述べるよりも自分の意見を述べることに意義があり、自主学習として有効であるという意見があった。PDHの目的は自己研鑽であり、単に学会などのセミナーに出席することも良いが、学会セミナーや放送大学の講座などから得た知見をまとめるようなアクティブなことを行うべきであり、個人々のPDH記録シートを作り、活動を記録していくべきだ。

2) 基本的に日本のエンジニアは、英語の短文で相手を理解させる能力に欠けるので、ボードへの報告はそれを伸ばすよい機会にもなり得るのではないかという意見があった。「サーティフィケーション」を作成することが第一目的ではなく、「自主的なレポート」を作成することに重点を置くべきである。

3) アルコールを飲みながら行うディスカッションはPDHとして認められないか。→賛否両論であったが、ここでは賛成派の意見を記す（反対派は倫理上の問題、判断力の低下等、特に真新しい主張ではなかった）。「飲む」のではなく「嗜む」状況でのディスカッションは「技術団体への参加」（最大6団体、2PDH）として認めても良いのではないかという意見があり、会費を払って出席したという証明があればエンジニアズサロンもPDHとして認められるべきだという意見もあった。実例として、アメリカ北部やヨーロッパの一部でアルコール有りのディスカッションが存在するので、アルコール有りのディスカッションも有効である理由があるはずである。

その他の議論として

・エンジニアの仕事について

・NPOの存在意義について

があった。

幹事：荒木、神野

次回テーマ

暫定案：未定

Script : [Web Diary Professional](#)

(C) 2003-2013 The Japan Society of Professional Engineers/All Right Reserved. E-mail: webmaster@jspe.org